資料５

令和７年度徳島県みどりの食料システム戦略基本計画の取組実績

１　徳島県みどりの食料システム戦略基本計画について

みどりの食料システム法に基づき、徳島県と県内全市町村が共同で策定する環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画

戦略目標	単位	基準値		実績値（R7）	目標値(R12)
化学農薬使用量の低減（リスク換算値）	ー	R3	310	311	279
化学肥料使用量の低減	t	R3	4,340	2,429 ※１	3,472
有機農業の面積の拡大（耕地面積に占める割合）	%	R3	0.56	0.89 ※２	1.5

※１　化学肥料の価格高騰により高度化成肥料等の出荷量が大きく減少し、実績値が想定より大きく低減。
※２　有機農業面積238ha（県調べ）／耕地面積26,800ha（R7農林水産省作物統計）

★ＫＰＩ達成に向けた施策

〇徳島みどりの食料システム戦略推進事業　（11,406千円）
- 徳島みどりトータルサポートチームの設立
- 有機農業等の産地づくり実施市町村数：２市

〇持続可能な農業づくり対策事業（4,156千円）
- 土壌分析点数：２６，７６４点
- 環境負荷低減活動実施計画認定数：３０８件（累計）

〇環境保全型農業支払事業（24,314千円）
- 実施市町村：１１市町村

＜具体的な取組内容＞

（１）推進体制の強化

- 農業者等による環境負荷低減に向けた取組や産地構築を支援するため、市町村、関係機関を構成員とする「徳島みどりトータルサポートチーム」を設立
- 有機農業やＩＰＭ（総合的病害虫雑草管理）指導員の育成
- 関係機関が連携し、化学農薬及び化学肥料を慣行の２割以上削減を計画するみどり認定農業者等の課題解決のサポート
- 県内外の先進事例の収集や情報を提供

（２）みどり認定や環境保全型農業直接支払交付金の活用推進

- みどり認定及び有機農業、緑肥、堆肥の使用に要する追加的経費を支援する環境保全型農業直接支払交付金の活用を推進

（３）営農技術の普及（化学農薬・肥料使用量の低減）

- かんしょ土壌消毒剤の削減技術の現地実証及び成果報告会を実施
- ＩＰＭに関するセミナーの開催や技術実証等を行う産地を支援
- 緑肥による肥料コスト低減技術に係る研究成果報告会の開催

（４）有機農業の面積拡大

- 有機農業の面的拡大のため、生産・加工・流通・消費までの一貫した地域ぐるみの取組を支援
- 有機JAS認証取得を促進するため、認証支援窓口の設置や研修会を実施


有機農業現地指導員研修会


ﾏﾘｰｺﾞｰﾙﾄﾞによる天敵温存


緑肥のすきこみ